

マナビイ いわてまち

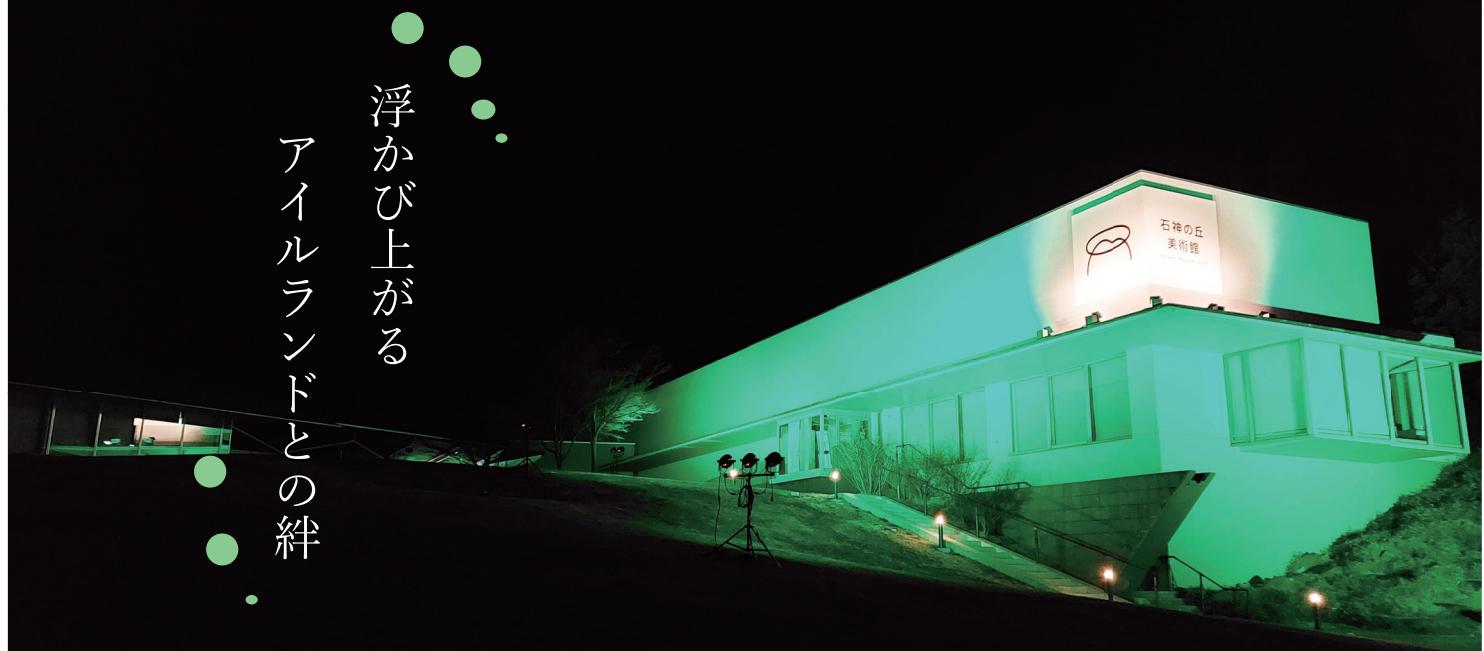
岩手町教育委員会広報誌

2022
春号
R4.4.7発行

浮かび上がる

アイルランドとの絆

3月13日（日）～3月21日（月・祝）に行われた グリーン・ライトアップ



アイリッシュダンスの体験も！



講師のニアリー氏



企画展の様子

3月5日より「アイリッシュフェスティバル2022 in 岩手町」が開催されています。岩手町ではアイルランドのホストタウンとして様々な交流事業を行ってきました。今回のイベントは、3月17日のアイルランドの祝日「セント・パトリックス・デー」をお祝いし、アイルランドの文化を岩手町に浸透させる目的に行われました。

石神の丘美術館ではホツケーに関する企画展が開催されています。ホツケーの町岩手町を振り返ると同時に、アイルランドとの交流などホツケーを通して世界が広がっていく様子を見る事ができます。また、美術館の外観はアイルランドのナショナルカラーの緑色にライトアップされました。

3月21日には駐日アイルランド大使館副代表のピーター・ニアリー氏

による講演会と、アイリッシュダンス＆ミーリングの特別ステージが開催されました。参加者はアイルランドの文化やこれから交流について理解を深め、珍しいダンスと思わず体が動くような軽快な音楽を楽しんでいました。

企画展と道の駅石神の丘でのアイルランド商品の販売・アイルランドメニューの提供は4月10日までです。

教えて!スガオサ先生!

埋蔵文化財 Q&A 入門編 ～石ころが宝物？埋蔵文化財の世界～

一戸町の御所野遺跡が世界遺産に登録され、遺跡が注目を浴びているけれど、岩手町ではどうなんだろう？今日はたまなぼうやと一緒に、発掘調査に詳しい「スガオサ」先生に色々と聞いてみよう！



Q.

遺跡はどのようにして発見されるの？岩手町にもあるのかな？

畠を耕しているときに土の中から土器や石器が見つかることがあり、遺跡があるとわかる場合があるよ。2021年に世界遺産登録された一戸町の御所野遺跡は、縄文時代の遺跡群の1つとして登録されたんだけど、縄文時代の遺跡は岩手町でもたくさん見つかっているんだ。



Q.

土の中から、埋蔵金や宝物が出たりしないの？

例えばエジプトのピラミッドや、古墳など昔のお墓から宝物が見つかることがあるけれど、それは稀なことで、発掘調査で見つかるのはほとんどが小さな破片なんだ。みんなが博物館で見たことのある土器の多くは、破片をパズルのようにくっつけて展示していることが多いよ。私たちはその破片から、昔の人々の暮らしや文化を知ることができるんだ。石ころみたいに見えるけど、発掘調査ではそれがまさに「宝物」といえるんだ。



Q.

もし、土器や石器のようなものを見つけたら、どうすればいいの？

調査が必要な場合があるので岩手町教育委員会に連絡しましょう。

小さな破片でも、昔のことを知る手掛かりになるかもしれないね。スガオサ先生ありがとうございました！



たまなぼうや

A.

こんにちは！スガオサ先生だよ。いつもは教育委員会の社会教育課といふところで仕事をしているよ。みんなよろしくね！

令和3年度岩手町教育振興運動

教育を高めて進む町づくり大会

「教育を高めて進む町づくり大会」が1月23日、森のアリーナで行われ、PTA関係者や治振興会長・教職員ら165人が参加しました。

開会式では、町PTA連合会表彰と町人権標語「シンクール」の表彰が贈呈されました。その後、児童生徒の成果発表、「ネット・スマート等使用の約束10箇条」についてのパネルディスカッションが行われました。



開会行事で町民憲章を朗読する
平松穂崇さん(沼宮内中2年)

パネルディスカッション

テーマ「岩手町ネット・スマート等使用の約束10箇条」を守るために取り組みたための取り組み

児童生徒・PTAできまりを守る取り組みを実践し交流するパネルディ

イスカッショングを行いました。

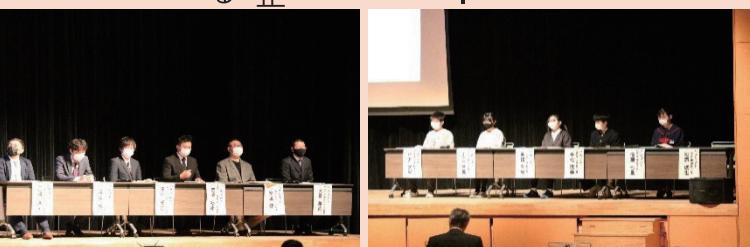
1部パネリストには中井大湖さん(沼小6年)、川口怜美さん(川小5年)、角館千桜さん(一小6年)、平松穂崇さん(沼中2年)、佐藤七星さん(川中2年)、松浦琥也さん(一中2年)。助言者として未来の風せいわ病院理事長智田文徳先生を招き行いました。

各校の取り組みは、

①メディア利用について個々に目標を立て調査する。(沼小)
②ネット・スマート・ゲーム等のメディアとの付き合い方の標準作成。(川小)③ノーゲーム・ノーメディアデーの取り組み。(一小)④自分の生活を振り返り、時間の使い方について意識する。(沼中)⑤「いじめ防止行動宣言を作った。(川中)

学習会を行い、自分ができる行動宣言を作った。(川中)
⑥「寝る1時間前には、メディアを消して、ブルーライトを浴びない生活をする」啓発活動。(一中)

2部のパネリストは、各校のPTA会長6名で実践を交流しました。内容は、①家庭学習強化週間に合わせ、「ゲーム・メディア時間の目標」を決めて取組む。(沼小)②「親子標語」の作成と掲示。(川小)③「情報メディアとの上手な使い方」についてのワークショップ。「ノーゲーム・ノーメディアデー」の取り組み。(一小)



成果発表

柏田汰一さん(沼宮内小2年)



第67回青少年読書感想文
岩手県コンクール低学年の部
優良賞
『ダンゴムシみつけたよ』

佐藤美空さん(一方井中2年)



第29回岩手町福祉作文コンクール
優秀賞
『みんな一人の大好きな人間』

今松幸翔さん(一方井小2年)



第66回青少年読書感想文
岩手県コンクール低学年の部
優良賞
『あさがおの花は、すごかった』

ターアイデー作製・家庭に掲示。(一中)
智田先生からは、子どもたちに「ネット(SNS)やオンラインゲーム」使用時間が長くなると落ち込みやすくなり、やる気がなくなってしまうこと。保護者には、「スマート・スマート」の意見も、「岩手町ネット・スマート等使用の約束10箇条」についてあらためて参加者で考えるパネルディスカッションになりました。

④「家庭での過ごし方調査」を行い、親子でより良い時間の使い方について話し合う。(沼中)⑤「家庭学習強化週間」の取り組み。標語の募集・受賞作の掲示やPTA広報誌掲載。(川中)⑥生徒会と連携し「bye bye ブルーライト運動」ポスター作製・家庭に掲示。(一中)

フロア参加者からの意見も、「岩手町ネット・スマート等使用の約束10箇条」についてあらためて参加者で考えるパネルディスカッションになりました。

④「家庭での過ごし方調査」を行い、親子でより良い時間の使い方について話し合う。(沼中)⑤「家庭学習強化週間」の取り組み。標語の募集・受賞作の掲示やPTA広報誌掲載。(川中)⑥生徒会と連携し「bye bye ブルーライト運動」ポスター作製・家庭に掲示。(一中)



令和4年度教育行政方針

～令和4年度の主な事業をお知らせします～



学校教育の充実

確かな学び、豊かな学びの推進

- ・「分かる授業」と「学習意欲の向上につながる授業」の実践・改善
- ・小中連携によるファミリースクールの取り組み
- ・小学校の「外国語活動」、「外国語科」を円滑に推進
- ・ICT教育やプログラミング教育の推進
- ・「持続可能なまちづくり」の考え方を取り入れた、主体的・創造的に取り組む資質・能力の育成
- ・いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ未然防止を最優先に対応

子どもの安全確保

- ・地域全体での「おはよう おかえり 8・3運動」
- ・通学路安全点検による登下校時の安全確保

学習環境整備

- ・沼宮内小学校の大規模改修、沼宮内中学校の屋内消火栓配管改修
- ・教育用コンピューターを活用した情報活用能力の育成
- ・安全でおいしい給食の提供
- ・私立幼稚園の運営費補助・就園児保護者へ保育料等給付

小中学校再編計画の推進

- ・令和10年4月開校予定の統合新設中学校校舎等の施設設備の計画的な推進

国際交流の推進

相手国情報発信・文化学習

- ・次世代を担う子どもたちが国際的な視野を持ち、活躍できる環境を創造
- ・アイルランド関連イベントの開催



ご感想やご意見など、お気づきの点がありましたら下記までお問い合わせください。

【編集・発行】 岩手町教育委員会社会教育課
〒028-4395 岩手町大字五日市 10-44
電話：0195-62-2111（内線 344・352）
FAX：0195-62-2032
メール：shakyo-1@town.iwate.iwate.jp

社会教育の充実

コミュニティ・スクール導入に向けた連携

- ・一方井地区をモデル地区とし、地域と学校が協働しながら子どもを育てる体制を構築

図書館サービスの充実

- ・移動図書館車業務を地域活動へも拡充

生涯スポーツの推進

各世代がそれぞれ気軽に継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進

- ・事業内容の検証を行い、誰もが参加しやすいイベントづくりを推進
- ・オリンピック事前キャンプに向けて整備された施設資源を活かした合宿の誘致を推進
- ・ホッケーのまちづくり
- ・魅力啓発・普及活動に取り組み、競技人口の拡大と競技力の向上を図る



文化・芸術の振興

担い手の育成・支援

- ・文化芸術団体等の住民の自主的活動を支援
- ・住民に親しまれる美術館の運営

- ・開業20周年を迎える道の駅「石神の丘」と連携し、さらなる魅力を発信

- ・第3次運営計画の策定に向け調査・研究の推進



文化財の保護

- ・指定文化財の適正な保護、埋蔵文化財やその他の文化財の計画的な調査
- ・展示保存施設の整備
- ・郷土芸能などの保存団体の育成・支援